

19th International Conference on Biological Inorganic Chemistry (ICBIC-19) への参加 (短期海外派遣)

所属：理学研究科 物質理学専攻

学年：博士前期課程 2年

氏名：米村 開

渡航先：インターラーケン (スイス)

渡航期間：2017年8月9日～2018年8月19日

渡航目的：ICBIC-19 への参加及び研究発表

概要：

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラムの支援を受け、スイスの Interlaken で開催された ICBIC-19 に参加し、「Screening of *N*-substituted Dipeptides for Activation of Cytochrome P450BM3」という演題でポスター発表を行った。本学会は世界中の生物無機化学者が集まり最新の研究成果について発表と討論を行う学会であり、海外の研究者の発表を聞いたり自身の研究について議論を行ったりすることで今後の自身の研究に向けて大いに刺激を受けることができた。

所感：

スイスで開催された本学会には、国籍を問わず幅広い国々から研究者が参加しており、日本国内の学会だけでは触れることのできない、多様な研究について知ることができた。また、その中での自身の研究の役割や意義についても確認することができ、今後の自身の研究の方向性の決定に大いに参考になった。

ポスターセッションでは、主にヨーロッパの研究者らと議論を行い、自身の研究について多くの助言を得ることができた。そのいくつかはすぐに実践したいと思えるものであり、非常に有意義な議論であった。

口頭発表では自身の専門分野に近いものから境界領域までの最新の研究成果について知ることができ、今後の参考になった。新しく知った研究手法は、ぜひ自身の研究に取り入れていきたい。

トランスフォーマティブ化学生命融合研究大学院プログラムに本学会参加を支援していただき、本学会に参加しなければ知ることができず、多くの貴重な経験をすることができた。

